

# 市民に寄り添う安全安心なまちづくり

## ～地域コミュニティの維持・活性化を強化～

### 総合防災センター整備

ことし11月に無投票で再選し、稲敷市のリーダーとして二期目を迎える寛信太郎市長。今すぐ取り組むべき課題が山積する中で、地域住民が互いに助け合い、支えあう地域コミュニティの強化が、新しいまちづくりである「持続可能性」「安心・安全」「ポストコロナ」を実現すると寛市長は考える。新しいまちづくりを実施する上で、重点事業として防災センターの整備や和太公園の再整備、稲敷IC周辺地域の開発等を計画している。市民の期待を一身に背負う寛市長に、施設方針や重点事業などについて聞いた。

#### 稲敷IC周辺の開発を推進

■就任にあたっての抱負  
人口減少や少子高齢化など問題を抱える中で、「二期目」ということで身の引き締まる思い。地方自治の課題が山積し、厳しい状況の中で市政を進めるという中で皆様の意見を聞きながらしっかりと進めていきたい。

■新たなステージのまちづくりを推進するために「地域特性を活かした持続可能なまちづくり」「市民に寄り添った安心・安全なまちづくり」「ポストコロナを踏まえた地方創生のまちづくり」の3本柱を掲げる。その中でも市の課題となっている過疎地域対策事業を確立し、地域コミュニティの維持・活性化を強化していく。

現在、旧町村単位で公民館の機能を強化するため、職員が地域の行事や活動を補佐するよう役割を担い、地域住民の活動の拠点として公民館を活用してもらおう取り組みを始めた。また、各地域の特性を活かした産業文化祭を開催し、今までと視点を変え過疎地域対策事業を進めている。

■重点事業について  
稲敷市は約半分がハザードエリア。今後は、防災上の最重要対策として(仮称)防災センターの整備を進める。

正に配置。避難所としては小中学校の教室や体育館を利用することを検討しており、該当する施設への冷暖房の整備を進めている。和太公園の再整備については、サイクリング拠点として整備するだけでなく、老朽化したフェンスなど修繕を進める。

■インフラ整備について  
また、下水道や水道の更新時期が来るため、出来るだけコストを削減した形で実施し、住民のニーズに応えられるよう計画を進めている。市の特性としての拡大を進めていきたい。

■入札制度について  
工事の評価・評点をきちんと付けられる仕組みを整え、総合評価方式の導入も検討していきたい。

■建設業界に向けてメッセージ  
資材の高騰や人材不足という厳しい時代だが、共に乗り越えて明るい未来を築いていきたい。生活する上でインフラ整備は欠かせない事業であり、災害時など建設業の貢献は大きく感謝している。



に導入するか試験的に進めるかを協議している。地元の方が公平公正に受注していくのが理想。表彰制度は、現場の仕事の評価する上では必要であると考えている。点数制度などを作って優れた技術者を表彰する仕組みを整えたい。

また、今年から稲敷版申請道修工事の発注を始めた。仕事の内容を理解してもらった上で、各地区4社に入ってもらい、それまで市の職員が行っていた緊急性のある除草作業などを地元事業者に対応してもらおうなど試験的に導入。9月から二期目が始まっている。

地元事業者も仕事が増え、住民も安心・安全が確保することができ、市もその他の業務が遂行出来るなど、みんなが喜ぶ仕組みである。今後、この制度をうまく活用し水道や道路などのメンテナンスや緊急対応などにも使えるような仕組み作りを進めていきたい。

### 和田公園の魅力向上

稲敷市は4つの町村が合併して出来た市で、地域の特性が異なっており、地域のコミュニティが薄くなっている。

規模や避難人数などを調査した上で、メインとなる防災センターと避難所や備蓄センター、救護活動を行うなど、機能を強化していくような施設を各地域に適

い体制で公園を運営していく。また、公園内のゾーニングをきちんと行い遊具等を設置し子どもたちが遊べる空間を作ることも検討しており、交流人口や関係人口

起伏が少なく下水道の流れが難しい箇所があり、修繕のコストがかかる。また東西23km、南北13kmと地域が広く、集落が点在しているため、旧町村単位での施設をバランス良く配置し直す必要がある。

参加制限や取りおろし方式を実施しており、22年度からはランダム係数を試行的に取り入れた。今後は事業者にアンケートを行い本格的



#### ◆プロフィール◆

寛 信太郎 (かけひ・しんたろう) 1968年7月7日生まれの54歳。日本大学生産工学部卒。市議会議員を経て現職。趣味はメダカの飼育・繁殖。座右の銘は詩人坂村真民の「念ずれば花ひらく」。



現在の和田公園

### 社会資本整備を通して地域の発展に尽力致します

|  |  |   |  |   |
|--|--|---|--|---|
| <b>信工業 (株)</b><br>代表取締役 石井 恒美<br>〒300-0504 稲敷市江戸崎甲4769-1<br>TEL 029-892-0040 FAX 029-892-4611  | <b>東開発工業 (株)</b><br>代表取締役 荒野 博史<br>〒300-0722 稲敷市三島1035-4<br>TEL 0299-78-2318 FAX 0299-78-2203  | <b>(株) 東土木</b><br>代表取締役 田谷 富久治<br>〒300-0605 稲敷市幸田1414<br>TEL 0299-79-2707 FAX 0299-79-2150      | <b>飯塚建設 (株)</b><br>代表取締役 飯塚 明夫<br>〒300-0612 稲敷市市崎1336-2<br>TEL 0299-79-2712 FAX 0299-79-1863 | <b>(有) 栄拓</b><br>代表取締役 墳崎 裕己<br>〒300-0509 稲敷市江戸崎乙598-3<br>TEL 029-892-2689 FAX 029-892-2899 |
| <b>(株) 川島工務店</b><br>代表取締役 川島 伸二<br>〒300-0731 稲敷市本新427<br>TEL 0299-78-2344 FAX 0299-78-2057     | <b>クボタ建設工業 (株)</b><br>代表取締役 久保田 初江<br>〒300-0606 稲敷市臨川130<br>TEL 0299-79-1157 FAX 0299-79-0888  | <b>(有) 栗山重機</b><br>代表取締役 栗山 和彦<br>〒300-0504 茨城県稲敷市江戸崎甲2895<br>TEL 029-892-0465 FAX 029-892-7788 | <b>黒田建設 (株)</b><br>代表取締役 黒田 正<br>〒300-0641 稲敷市浮島5118<br>TEL 029-894-6211 FAX 029-894-6737    | <b>(株) 幸田</b><br>代表取締役 幸田 君子<br>〒300-0504 稲敷市江戸崎甲3282<br>TEL 029-892-2921 FAX 029-892-7433  |
| <b>(株) サンヨウ建設</b><br>代表取締役 坪井 則子<br>〒300-1412 稲敷市柴崎6841-9<br>TEL 0297-87-2151 FAX 0297-87-2153 | <b>天海建設 (株)</b><br>代表取締役 木村 幸子<br>〒300-0513 稲敷市桑山733-1<br>TEL 029-892-9888 FAX 029-892-9898    | <b>日高見建設工業 (株)</b><br>代表取締役 根本 和明<br>〒300-0513 稲敷市桑山403<br>TEL 029-892-0707 FAX 029-892-6788    | <b>平山建設 (株)</b><br>代表取締役 平山 精作<br>〒300-0638 稲敷市古渡851-1<br>TEL 029-894-3902 FAX 029-894-3913  | <b>松野建設 (株)</b><br>代表取締役 高橋 良昭<br>〒300-0643 稲敷市上馬渡1035<br>TEL 029-894-2207 FAX 029-894-2490 |
| <b>松原建設 (株)</b><br>代表取締役 佐川 克豊<br>〒300-0726 稲敷市西代2852<br>TEL 0299-78-2711 FAX 0299-78-2713     | <b>柳町トレンチャー (株)</b><br>代表取締役 柳町 陽子<br>〒300-1412 稲敷市柴崎8838<br>TEL 0297-87-2039 FAX 0297-87-2339 | <b>吉田建設 (株)</b><br>代表取締役 吉田 いな子<br>〒300-0504 稲敷市江戸崎甲3085<br>TEL 029-892-2927 FAX 029-892-3019   | <b>米川組 (株)</b><br>代表取締役 米川 浩志<br>〒300-0641 稲敷市浮島6924<br>TEL 029-894-6712 FAX 029-894-6821    | 稲敷市入札参加資格者 (市内)<br>土木工事・建築工事<br>Aランク企業  |